

具体的な改善の目標設定とその方策

		何を (改善すべきこと)	いつまでに (成果検証の期限)	どこまで (対象と達成目標の設定)	どのように (方策)
学力 状況	国語	○新聞や本を読む機会。また、新聞記事について自らの意見や考えをまとめる力。 ○条件に合った文章を書く力の育成。 ○新聞、やや長めの説明文や評論文や小説などさまざまなジャンルの文章を限られた時間で読んで内容を理解する能力の向上。	令和2年3月	○新聞記事、やや長めの文章を読むときに読む時間を設定し、その時間内に正しく読み取ることができる。 ○条件を踏まえた上で、自らの意見を書いたり発表したりすることができる。	○新聞や本を読む時間がほとんどないと質問紙の設問で答えているため、今よりも新聞や本を読む時間を増やす。(授業時間や総合学習の時間学活の時間を利用) ○決められた時間の中で条件に合った文章を書かせる機会を折に触れ設定する。
	数学	○資料の整理 ○既習事項の定着	令和2年3月	○用語を正しく理解し、数学的な表現を用いて説明できる。	○用語の理解を助けるために、図や表を示して考えを説明させる。 ○家庭で復習できる課題を継続して出し、確認する。定期的に個別指導を行う。
	英語	○聴いた内容や読んだ内容について条件付きの英文を書く能力 ○既習事項の定着	令和2年3月	○条件付きの英文を書くことにおいては、まずは空欄を作らない段階から始め、正しく書く力をつけた上で、自らの意見を表現できる段階まで。 ○英語を学習する楽しみを見いだせるまで。	○以前に学習した内容を授業中に随時復習する。 ○家庭でも復習できるような課題を出し、確認する。放課後にも定期的に個別の指導を行う。 ○今年度から行っている英文日記の継続や定期的に行っているスピーチの充実。
学習 状況	○課題の出し方や点検の仕方のより一層の工夫 ○計画を立てて学習する習慣化 ○授業時間以外の学習時間の確保 ○スマートフォンやテレビ・ゲーム利用時間の指導	令和2年3月	○生徒全員が、2～3時間の学習時間を確保し、計画を立ててできるようにする。 ○平日のテレビ、ゲーム、SNS(スマートフォン利用を含む)の平均利用時間が2時間以内になるようにする。併せて、午後9時以降は情報機器利用をしない。	○職員室の宿題連絡共有ボードの効果的な活用。 ○学級活動の時間を利用した課題への取り組み方や説明。計画の立て方の指導を受けてからの実行状況の把握(RPDCAサイクルによる)の実践 ○通常も家庭学習時間だけでなく、読書やテレビ等に充てる時間を把握し、必要時に指導や助言を行う。 ○放課後サポート事業の利用 ○学習状況やテレビ等の利用時間のルール作りなどについて、懇談や電話連絡による定期的な家庭への連絡や協力要請。	